

事業所名 山形県こども医療療育センター
児童発達支援センター（からふる通園）

支援プログラム

作成日 2024 年 10 月 25 日

法人（事業所）理念	障がい児（者）の多様化する福祉ニーズを的確に捉え、市町村の関係機関と連携しながら、センターが有する医療、リハビリテーション、療育支援の専門的機能を活かして、障がい児（者）に対する医療・療育サービスを総合的に提供することにより、県民の医療・福祉の向上に資する。						
支援方針	○障がいのあるこどもを中心に、安心して信頼のおける医療・療育を提供します。 ○こどもの意思を尊重しこどもの最善の利益を大切に、より良い療育を目指します。 ・個別支援計画に基づき、多職種が連携しながら、こどもの発達段階や特性に合わせた成長・発達の支援を行います。 ・主体的な遊びやさまざまな体験を通して小さな成長の芽を見つけ、運動機能の向上や興味関心の拡がりを目指します。 ・親子通園を基本とし、保護者とともにこどもの理解を深めながら子育てのサポートを行います。						
営業時間	9 時	30 分	から	16 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/>
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・病気や障がいによる症状や体調変化を保護者ととともに観察しながら、安心・安全に生活できるよう留意していきます。 ・一人ひとりのニーズに配慮した環境で意欲を育て、生活スキルの向上と見通しをもって生活できる力を育てます。 ・口腔機能に適した形態の給食を提供します。 ・必要に応じて、歯科による摂食指導や栄養士による栄養指導を行います。					
	運動・感覚	マット遊び、風船遊び、スライム、リズム遊び、乗り物あそび、プールなどたくさんの遊びや感覚活動を提供し、ボディイメージを育て、運動機能や目の手の協応動作機能の向上・発達を支援します。					
	認知・行動	・ブロック遊び、知育玩具、積み木、季節の製作活動などの遊びを通し、因果関係の理解・数・大小・色形・時間の理解や空間認知の向上・発達を目指します。 ・一人ひとりの力に合わせた活動や環境設定を工夫し、“できた”という自信や“もっと”という意欲を育てます。					
	言語コミュニケーション	・安心して過ごす中で、気持ちの表出を促しやりとりする楽しさにつなげ、意思表示やコミュニケーション力の向上・発達を支援します。 ・必要に応じ、視覚カードや手話、マカトン法を用います。					

	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・大人や友達と一緒に、手遊びや触れ合い遊び、ごっこ遊びやルールのある遊びの体験を通し、人とかかわる力の向上・発達を支援します。 ・一人ひとりが大切にされる心地良いコミュニケーションを重ね、自己肯定感を高めていきます。 ・バスハイクや遠足などの活動を通して社会経験の幅を広げていきます。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動の中で、保護者とともに丁寧に観察し行動や状況の理解を深め、助言を行います。 ・保護者同士が交流できる機会を作り、情報交換や支え合いを支援します。 ・子どもを取り巻く家族やきょうだい児についても、随時、個別面談を実施し相談援助を行います。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・移行を目指したファーストステップとして、単独通園や小グループ活動を実施します。 ・インクルージョンの取り組みを推進し、園や事業所の利用開始時、また園や小学校への移行時及び移行後に情報提供や情報交換を実施します。 ・公園など公共機関での遊びを通し、同年代の子ども同士の触れ合いを促します。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・併行利用の園や事業所への訪問や見学受け入れ及び担当者支援会議等を通し、子どもや家族の理解を深めより良い支援について共有します。 ・上山市地域自立支援協議会への参加 ・山形県専門職員派遣事業としての職員派遣 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療療育センター内外の研修参加や研究発表、係内の勉強会、個別のケース検討会や支援会議を実施します。
主な行事等	<p>主な行事：七夕、夏祭り、遠足、ハロウィン、クリスマス、だんごさし、豆まき、ひな祭り、お別れ会 その他：大型バスでの所外活動、おやつバイキング、保護者研修会、避難訓練等</p>		